

## 短期大学生の敬語表現と意識の推移 —入学当初と保育施設実習後と比較して—

皆川 晶 (近畿大学九州短期大学)

Trends in honorific expressions and consciousness of junior college students  
-Comparison between the beginning of enrollment and after the childcare facility training-

Aki Minagawa (Kyushu Junior College of Kindai University)

### 要旨

短期大学生の敬語の使用状況、敬語表現の理解度について、入学当初と保育施設実習を終えた2年次と2回にわたりアンケート調査を行った。その結果から分析し、学生の敬語表現の理解と意識の推移を明らかにした。調査結果から、必要に応じた言葉遣いや敬語を意識して使用しているが、適切な敬語を使用できているかは自信がないことがわかった。敬語の問題では、二重敬語の判断、表現の誤用、尊敬語と謙譲語の違いが理解できていないことがわかった。保育施設実習先での敬語の使用という実体験に加え、敬語表現の理解、実践的な応用につながる表現などの継続的な敬語教育が必要である。

キーワード：敬語，言葉遣い，意識調査，敬語教育，

### Abstract

A questionnaire survey was conducted twice on the use of honorifics and the level of understanding of honorific expressions among junior college students, at the beginning of enrollment and in the second year after completing the childcare facility training. Based on the analysis of the results, we clarified the changes in students' understanding and awareness of honorific expressions. From the survey results, it was found that although they are conscious of using language and honorifics as necessary, they are not confident that they are using appropriate honorifics. In the question of honorifics, it was found that the judgment of double honorifics, the misuse of expressions, and the difference between honorifics and humble words were not understood. In addition to the actual experience of using honorifics at childcare facility training sites, continuous honorific education such as understanding honorific expressions and expressions that lead to practical application is necessary.

Keywords : honorific , wording , awareness survey , honorific education

### 1. はじめに

私たちは、多くの人と関わるなかで、コミュニケーションを円滑に行うために敬語を使っている。日々、さまざまな人との会話や情報から敬語を耳にし、特に意識をすることもなく、使えるようになって

きた。もちろん、敬語の種類や表現形式、使い分けなどは、小学校や中学校などの「国語」の教科の一分野として学習してきた。大学生になると広い領域での人との関わりが増えたことにより、自分の言葉遣いを改めようとしている姿を見ることができ

## 短期大学生の敬語表現と意識の推移

文化庁の「国語に関する世論調査」<sup>1)</sup>によると、「言葉や言葉の使い方について自分自身に課題があると思うか」の問いに対して、16～19歳は76.2%、20代は78.3%が「あると思う」と答えた。具体的な課題として、「改まった場で、ふさわしい言葉遣いできないことが多い」は16～19歳が49.5%、20代が59.9%、「敬語を適切に使えない」は16～19歳が50.5%、20代が52.0%であった。この調査から、10代後半から20代の若者の半数は、場面にあったふさわしい言葉遣いや敬語が適切に使用できていないとまっていることがわかる。

敬語は時と場合、相手への敬意を示し、考えて使う言葉である。話し手と相手側との社会的立場や親疎の関係により、使い分けている。敬語を適切に使わなければ、相手側に不快感を与えることになる。だからこそ、敬語の使用の裏には緊張感を伴うことになる。敬語の理解・使用がまだ不十分である若者にとっては、なおさらのことである。しかしながら、日本の社会においては、敬語の適切な使用が人間関係を円滑にすることにつながるため、敬語の使用は不可欠である。

本学の学生たちが目指している保育者は、専門的知識をもって、子どもの養護や教育を行い、保護者に対する支援などの役割を担っている。つまり、子どもに対する言葉遣い、保護者に対する言葉遣いの配慮が必要になってくる。

本稿では、本学保育科学生に対し入学当初と、本学附属幼稚園での1年間の実習と2か所の保育施設実習を終えた後に、敬語の問題、敬語に関するアンケート調査を行った。その結果から、敬語への意識、敬語の種類、使い分けの理解などを明らかにし、実習を重ね、敬語の使用が増えたことで、敬語の使用と理解度に変化が生じたのかを考察する。

## 2. 調査概要

### 1) 調査目的

短期大学入学直後に、敬語の使用や意識についての調査と敬語の問題を実施した。1年後、保育施設での実習を終えた後に、言葉遣いの変化、敬語の使用状況の調査と敬語の問題を実施した。その調査結果を分析することで、本学学生の敬語に対する理解度と意識の推移を考察し、今後の敬語教育に役立て

ることである。

### 2) 調査項目

#### 調査1（1年次）

- ・あなたは人と話すときに、必要に応じて敬語を使っていますか。
- ・あなたは敬語をうまく使えていると思いますか。そう思う理由も書いてください。
- ・敬語の問題<sup>2)</sup>

#### 調査2（2年次）

- ・短期大学に入学する前と現在では、自分の言葉遣いに変化があると思いますか。そう思う理由も書いてください。
- ・附属幼稚園や外部の保育施設での実習を振り返り、実習先の先生方、利用者さん、職員の方々などとの会話で、敬語をうまく使えたと思いますか。そう思う理由も書いてください。
- ・敬語の問題<sup>3)</sup>

### 3) 調査対象

- 近畿大学九州短期大学保育科の学生
- 調査1「保育科基礎演習」受講学生 50名
- 調査2「言葉（指導法）」受講学生 50名

### 4) 調査時期

- 調査1 2024年5月1日
- 調査2 2025年7月4日

### 5) 調査方法

調査対象者によるアンケート票記述方式と敬語の問題表記方式

### 6) 回収結果

- 調査1 回収数（率） 50名（100%）
- 調査2 回収数（率） 47名（94%）

### 7) 倫理的配慮

調査にあたり、調査項目、実施の有無は授業の成績には一切関係しないこと、データは個人が特定されないように十分な配慮を行い扱うことを説明した。また、データは研究目的以外には使用しないこ

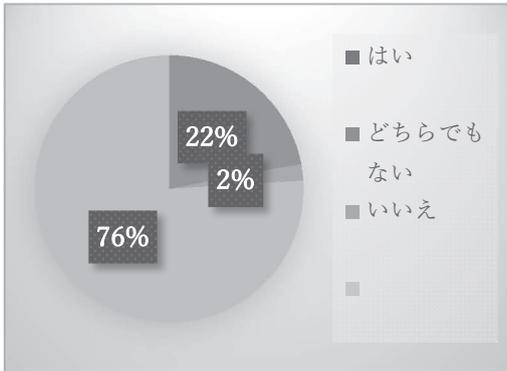
とをアンケート用紙に示すとともに配付時にも口頭で説明を行い、同意を得られた者を対象とした。

### 3. 調査の結果と考察

#### 1) 敬語についての使用と意識

調査1では、入学当初「あなたは人と話すときに、必要に応じて敬語を使っていますか」の問いに50名全員が「はい」と答えた。「あなたは敬語をうまく使えていると思いますか」(図1)の問いには、22%が「はい」、76%が「いいえ」と答えた。

(図1) 敬語の適切な使用



「はい」と答えた理由に、3名が「アルバイトで接客をして使っているから」<sup>4)</sup>、同じく3名が「年上の人には敬語を使っているから」、ほかには、「高校時代に部活できたえられたと思うから」、「日本人だから上手く使えるはず」、「小説を書いているので、言葉には自信がある」、「みんなと同じだから、合っているかなと思う」という理由もあった。

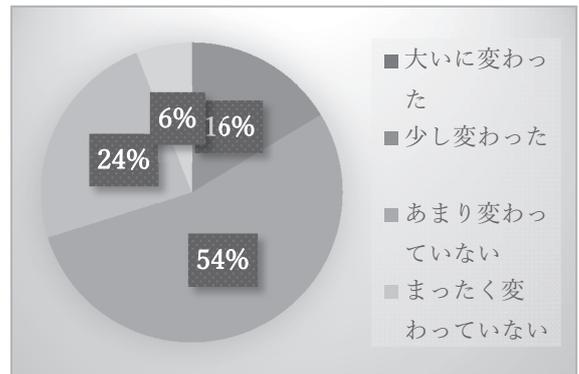
「いいえ」と答えた理由に、8名が「正しい敬語を知らない、分っていない」、6名が「敬語は難しくて、たまにタメロが入ってきているから」、4名が「うまく使えているかわからない」、3名が「方言と混ぜて話せていないと思う」、「敬語と思って使っても、間違っていることがあるから」と答えた。ほかには、「敬語は難しいから」、「言葉が詰まる、崩れる」、「変な日本語になるから」、「なんとなく使ってしまうから」

という理由もあった。全体的に見ると、敬語は難しい、使用している敬語が正しいのかわからない、という理由であった。

「どちらでもない」と答えた学生は理由を書いていなかった。

調査2では、2年生になり「短期大学に入学する前と現在では、自分の言葉遣いに変化があると思いますか」(図2)という問いでは、16%が「大いに変わった」、54%が「少し変わった」、24%が「あまり変わっていない」、6%が「まったく変わっていない」と答えた。

(図2) 入学前と現在の言葉遣いの変化



「大いに変わった」理由は、2名が「正しい敬語を意識して使うようになったため」と答え、ほかには「実習を重ねるうえで保護者や保育者との会話をすることで、目上の人に話す時に敬語を使う必要があるため」、「実習を通してこんなにも標準語を使えていないことに気づき、意識するようになり、気かけながら、子どもたちと関わってきたから」、「子どもと関わる中で、汚い言葉を使わないようにすることを意識するようになったから」と答えた。保育施設実習で、保育者や子どもとの関わりのなかで敬語や言葉遣いへの意識が高まったとうかがえる。

「少し変わった」理由は、14名が「実習先で言葉遣いや敬語を意識することが増えたから」、6名が「子どもと話す機会が増えたから」と、保育施設実習による保育者や子どもとの関わりの中で、敬語や丁寧な言葉

## 短期大学生の敬語表現と意識の推移

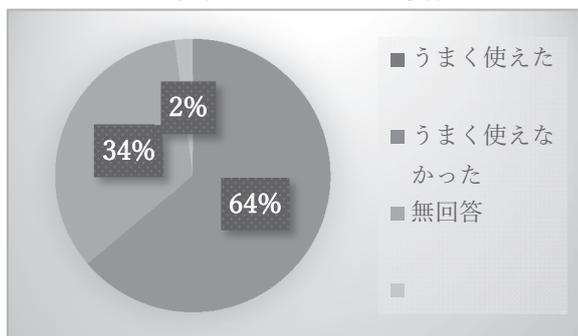
遣いなど、それぞれに合った言葉選びを意識するようになったことがわかる。6名が「敬語を使うようになったから」と、実習先の先生方や年上の人と話す機会が増え敬語を使うようになったことがうかがえる。

「あまり変わっていない」理由は、4名が「普段から言葉遣いには気をつけていたため、あまり変わっていないと思う」、2名が「子どもと関わり始めて少しは変わっていると思う」、1名が「子どもたちの前では、丁寧に話そうとは思っているけど、なかなか上手くできないから」と、言葉遣いに注意していることがわかる。「自分では変わっているのかどうかわからないから」、「特に意識していなかったから」、「先生と話す機会があまりないから」という理由もあった。

「まったく変わっていない」理由は、「入学する前からずっと敬語苦手だから」、「変わった自覚がない」という理由であった。

次に「附属幼稚園や外部の保育施設での実習を振り返り、実習先の先生方、利用者さん、職員の方々などとの会話で、敬語をうまく使えたと思いますか」(図3)の問いには、64%が「うまく使えた」、34%が「うまく使えなかった」と答えた。

(図3) 実習先での敬語の使用



「うまく使えた」理由は、15名が「敬語を上手く使えていたと思う」と答えたが、そのなかには「正しい敬語かどうかはわからない」、「緊張しているときは、あまり使えていないように感じた」と使用した敬語に自信のない学生も4名いた。7名が敬語を「意

識して使った」「心がけた」と答えた。また、4名が実習先は「学ぶ場所」、実習先の先生方は「目上の人だから」敬語の使用は当然であると答えた。

「うまく使えなかった」理由は、5名が「丁寧な言葉遣い、敬語を心がけているが、正しい敬語表現であるかがわからないから」、5名が「ときどき方言が出てしまった」、3名が「緊張すると、少し変な敬語になってしまうことがあったから」、2名が「気が抜けてタメ語になってしまったときがあった」などと、敬語を使用しているが、その敬語表現が正しいのかわからない、つい方言がでてしまう、タメ口がでてしまうなど、自身が使用する敬語表現の正誤がわからないまま使用していることがわかった。

## 2) 敬語の問題について

敬語の問題は1年次と2年次に同じ問題を解いてもらった。文例の下線部分の敬語表現が適切であるかどうかを正誤の欄に「○」「×」で記入、その答えに対する自信の有無を「○」「×」で記入してもらった。下線部分の敬語表現が適切でないと感じた場合は、適切な表現を記述してもらった。

敬語の問題20問についての得点と平均点を比較する。

(表1)

	最高点	最低点	平均点
1年次	20点	2点	13.68点
2年次	20点	7点	14.98点

最高点は満点で1年次は2名、2年次には3名おり、最低点では1年次は2点であったが、2年次には7点であった。平均点は2年次になると1.3点上がった。1年次に問題を解いた後に、問題の回答と説明をした。さらに、2年次は1年間の附属幼稚園での実習、2か所の外部の保育施設実習を終え、敬語を使用する機会は多くあったので、1年次に比べると、正解率も高くなると予想していた。しかし、平均点は1.3点上がったのみで、大差はなかった。調査対象者の1年次と2年次の点数を比較すると、平均して1.4点上がった。調査対象者個人で見ると

短期大学生の敬語表現と意識の推移

と、53.2%は点数が上がり、16点も上がった学生もいた。25.5%は点数が下がった。21.3%は1年次も2年次も同じ点数であった。半数以上が1年次よりも2年次に点数が上回ったのは、1年次に調査終了後にした問題解説と実習の経験により、敬語表現への理解が深まったと見られる。

3) 敬語の正誤と自信度について

次に、各問題の結果をみていく。

1、今日は理事長がお見えになる予定です。  
(○) <sup>5)</sup>

	正誤	自信 <sup>6)</sup>	人数	適切な表現 <sup>7)</sup>
一年次	○	○	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お見えになられる(2)</li> <li>・<u>いらっしゃる</u>(2)</li> <li>・<u>おいでになる</u>(1)</li> <li>・<u>お越しになる</u>(1)</li> </ul>
	○	×	4	
	○	—	15	
	×	○	2	
	×	×	4	
	×	—	1	
無回答			2	
二年次	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>いらっしゃる</u>(2)</li> <li>・お見えになられる(1)</li> </ul>
	○	×	8	
	○	—	2	
	×	○	8	
	×	×	17	
	×	—	3	
無回答			2	

2、入園式に来賓がご出席になられます。  
(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご出席されます(14)</li> <li>・<u>ご出席になります</u>(2)</li> <li>・ごらいてんになります(1)</li> <li>・出席なさいます(1)</li> <li>・お見えになります(1)</li> <li>・ご出席いたします(1)</li> <li>・ご隣席なられます(1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	8	
	×	○	12	
	×	×	8	
	×	—	8	
無回答			2	

二年次	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご出席されます(13)</li> <li>・<u>ご出席になります</u>(6)</li> <li>・出席されます(3)</li> <li>・ご出席される(1)</li> <li>・いらっしゃいます(1)</li> <li>・出席なさいます(1)</li> <li>・お越しになります(1)</li> </ul>
	○	×	8	
	○	—	2	
	×	○	9	
	×	×	17	
	×	—	3	
無回答			2	

3、園長先生がそのようにおっしゃられました。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>おっしゃいました</u>(15)</li> <li>・<u>おっしゃりました</u>(3)</li> <li>・申し上げられた(1)</li> <li>・申されました(1)</li> <li>・おっしゃった(1)</li> <li>・おっしゃっておられます(1)</li> </ul>
	○	×	6	
	○	—	8	
	×	○	13	
	×	×	11	
	×	—	4	
無回答			3	
二年次	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>おっしゃいました</u>(20)</li> <li>・<u>おっしゃりました</u>(5)</li> <li>・おっしゃっていました(3)</li> <li>・申していました(1)</li> <li>・お話になった(1)</li> <li>・おっしゃった(1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	2	
	×	○	16	
	×	×	11	
	×	—	5	
無回答			1	

4、園長先生がコーヒーを召し上がる。(○)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>お召し上がりになる</u>(2)</li> <li>・召される(1)</li> <li>・お召しになる(1)</li> <li>・召しあがりになる(1)</li> <li>・飲みます(1)</li> <li>・召しあがりました(1)</li> <li>・<u>飲まれる</u>(1)</li> <li>・お食べになる(1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	8	
	×	○	3	
	×	×	5	
	×	—	4	
無回答			5	

短期大学生の敬語表現と意識の推移

二年次	○	○	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お召しになる (3)</li> <li>・お飲みになります (1)</li> <li>・<u>お飲みになる</u> (1)</li> <li>・召しあがられる (1)</li> <li>・<u>お召し上がりになる</u> (1)</li> <li>・頂く (1)</li> </ul>
	○	×	7	
	○	—	6	
	×	○	2	
	×	×	5	
	×	—	1	
無回答		2		

5、福岡先生は行事予定表を拝見しましたか。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご覧になりましたか</u> (11)</li> <li>・<u>ご覧になられましたか</u> (10)</li> <li>・拝見されましたか (5)</li> <li>・<u>見られましたか</u> (1)</li> <li>・見ましたか (1)</li> <li>・拝見 (1)</li> <li>・拝見いたしましたか (1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	2	
	×	○	13	
	×	×	13	
	×	—	10	
無回答		3		
二年次	○	○	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご覧になりましたか</u> (16)</li> <li>・<u>ご覧になられましたか</u> (7)</li> <li>・拝見されましたか (6)</li> <li>・拝見なさいましたか (2)</li> <li>・ご覧になる (2)</li> <li>・<u>見られましたか</u> (2)</li> <li>・拝見いたしましたか (1)</li> <li>・ご覧いただきましたか (1)</li> </ul>
	○	×	7	
	○	—	0	
	×	○	18	
	×	×	16	
	×	—	4	
無回答		1		

6、主任に運動会の種目について話される。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>お話する</u> (5)</li> <li>・<u>お話しする</u> (3)</li> <li>・話す (3)</li> <li>・話した (2)</li> <li>・お話になる (2)</li> <li>・話していただく (2)</li> <li>・お話しされる (1)</li> <li>・お話される (1)</li> <li>・おっしゃられる (1)</li> <li>・話してもらう (1)</li> <li>・お伝えする (1)</li> <li>・お話しをする (1)</li> </ul>
	○	×	3	
	○	—	5	
	×	○	7	
	×	×	18	
	×	—	10	
無回答		5		
二年次	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>お話しする</u> (6)</li> <li>・話す (5)</li> <li>・お話しになる (5)</li> <li>・お話しされる (3)</li> <li>・お話ししていただく (3)</li> <li>・お話しされます (2)</li> <li>・話します (2)</li> <li>・話していただく (2)</li> <li>・お聞きする (1)</li> <li>・お伝えする (1)</li> <li>・ご説明なさいます (1)</li> </ul>
	○	×	6	
	○	—	2	
	×	○	10	
	×	×	20	
	×	—	3	
無回答		2		

短期大学生の敬語表現と意識の推移

7、主任に練習計画案をご覧に入れたいの  
ですが。(○)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	3	・ <u>お見せしたい</u> (5)
	○	×	6	・ <u>ご覧したい</u> (2)
	○	—	1	・ <u>拝見していただきたい</u>
	×	○	10	(2)
	×	×	14	・ <u>ご覧いただきたい</u> (2)
	×	—	11	・ <u>ご覧になっていただきたい</u>
				(2)
			・ <u>ご確認いただきたい</u>	
			(1)	
			・ <u>ご覧になられる</u> (1)	
			・ <u>ご覧していただきたい</u>	
			(1)	
			・ <u>見ていただきたい</u> (1)	
			・ <u>お拝見したい</u> (1)	
	無回答		5	
二年次	○	○	2	・ <u>拝見していただきたい</u>
	○	×	10	(5)
	○	—	3	・ <u>見ていただきたい</u> (4)
	×	○	12	・ <u>ご覧いただきたい</u> (3)
	×	×	16	・ <u>お見せしたい</u> (3)
	×	—	2	・ <u>拝見したい</u> (3)
				・ <u>ご覧になりたい</u> (1)
			・ <u>拝見させていた</u>	
			きたい (1)	
			・ <u>お目に入れたい</u> (1)	
			・ <u>拝見してほしい</u> (1)	
			・ <u>ご覧していただきたい</u>	
			(1)	
	無回答		2	

8、太鼓の先生がおいでになりました。  
(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	2	・ <u>いらっしゃいました</u>
	○	×	0	(14)
	○	—	5	・ <u>おいでになりました</u>
	×	○	19	(7)
	×	×	11	・ <u>お見えになりました</u>
	×	—	8	(3)
				・ <u>おこしになられました</u>
			(2)	
			・ <u>お見えになられました</u>	
			(2)	
			・ <u>おこしくさ</u>	
			いしました (1)	
			・ <u>お入りになる</u> (1)	
	無回答		5	
二年次	○	○	2	・ <u>いらっしゃいました</u>
	○	×	5	(18)
	○	—	4	・ <u>お見えになりました</u>
	×	○	19	(6)
	×	×	14	・ <u>おいでになりました</u>
	×	—	3	(5)
				・ <u>お見えになられました</u>
			(1)	
			・ <u>お越しになられた</u> (1)	
			・ <u>お見えになる</u> (1)	
			・ <u>おいでになる</u> (1)	
			・ <u>いらっしゃ</u>	
			られました (1)	
			・ <u>こられました</u> (1)	
	無回答		0	

短期大学生の敬語表現と意識の推移

9、先生にお会いできてうれしいです。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	7	・ <u>光栄</u> です (21)
	○	×	4	・喜ばしく思います(1)
	○	—	6	・幸いです (1)
	×	○	13	・ <u>かんげい</u> です (1)
	×	×	8	・ <u>うれしく存じます</u> (1)
	×	—	9	・ <u>かんげき</u> です (1)
	無回答		3	
二年次	○	○	8	・ <u>光栄</u> です (26)
	○	×	4	・ <u>うれしく</u> 思います(2)
	○	—	2	・幸いです (1)
	×	○	15	・幸甚に存じます (1)
	×	×	12	・喜ばしいです (1)
	×	—	5	
	無回答		1	

11、主任が昨年の資料をくれました。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	3	・ <u>くださいました</u> (23)
	○	×	2	・ <u>くださり</u> ました (4)
	○	—	3	・ <u>いただきました</u> (2)
	×	○	13	・ <u>くださ</u> った (1)
	×	×	15	・ <u>配布</u> して <u>ください</u> ました (1)
	×	—	9	
	無回答		5	
二年次	○	○	1	・ <u>くださいました</u> (22)
	○	×	6	・ <u>いただきました</u> (4)
	○	—	3	・ <u>くださ</u> った (3)
	×	○	20	・ <u>くださり</u> ました (3)
	×	×	15	・ <u>お渡し</u> して <u>ください</u> ました (1)
	×	—	2	
	無回答		0	

10、私もその演目についてご存じです。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	4	・ <u>存じ上げて</u> おります (8)
	○	×	0	
	○	—	3	・ <u>存じて</u> います (5)
	×	○	16	・ <u>知って</u> います (5)
	×	×	13	・ <u>存じて</u> おります (5)
	×	—	11	・ <u>存じあげ</u> ています(4)
				・ <u>存じあげ</u> ます (1)
				・ <u>承知</u> ずみです (1)
			・ <u>存じ申し</u> 上げます(1)	
			・ <u>存じ上げ</u> る (1)	
	無回答		3	
二年次	○	○	3	・ <u>存じて</u> おります (8)
	○	×	6	・ <u>存じて</u> います (7)
	○	—	1	・ <u>知って</u> います (7)
	×	○	18	・ <u>存じあげ</u> ております (3)
	×	×	14	・ <u>存じあげ</u> ます (3)
	×	—	4	・ <u>存じあげ</u> ています(2)
				・ <u>存じあげ</u> てます (1)
	無回答		1	

12、福岡先生は会議の資料をお読みしましたか。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	1	・ <u>お読み</u> になりましたか (6)
	○	×	1	
	○	—	3	・ <u>ご覧</u> になりましたか (6)
	×	○	15	・ <u>お読み</u> になられましたか (5)
	×	×	16	・ <u>ご覧</u> になられましたか (4)
	×	—	8	・ <u>拝読</u> しましたか (2)
				・ <u>拝見</u> しましたか (2)
				・ <u>お読み</u> されましたか (1)
	無回答		6	

短期大学生の敬語表現と意識の推移

二年次	○	○	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>お読みになりましたか</u> (8)</li> <li>・<u>ご覧になりましたか</u> (6)</li> <li>・<u>拝見しましたか</u> (4)</li> <li>・<u>お読みになられましたか</u> (4)</li> <li>・<u>読まれましたか</u> (4)</li> <li>・<u>拝見されましたか</u> (2)</li> <li>・<u>ご覧になられましたか</u> (2)</li> <li>・<u>読みましたか</u> (2)</li> <li>・<u>拝見していただきましたか</u> (1)</li> <li>・<u>お読みされましたか</u> (1)</li> <li>・<u>ご覧に入れましたか</u> (1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	1	
	×	○	12	
	×	×	21	
	×	—	6	
	無回答		1	

14、遠足には園長先生もいらっしゃるそうです。(○)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>お見えになる</u> (1)</li> </ul>
	○	×	5	
	○	—	16	
	×	○	0	
	×	×	1	
	×	—	0	
	無回答		5	
二年次	○	○	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>こられる</u> (4)</li> <li>・<u>おいでになる</u> (1)</li> </ul>
	○	×	9	
	○	—	8	
	×	○	3	
	×	×	2	
	×	—	2	
	無回答		1	

13、今日の会議で話し合ったことをご報告になります。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご報告します</u> (16)</li> <li>・<u>ご報告いたします</u> (9)</li> <li>・<u>報告致します</u> (2)</li> <li>・<u>ご報告に参ります</u> (1)</li> <li>・<u>ご報告</u> (1)</li> </ul>
	○	×	1	
	○	—	6	
	×	○	15	
	×	×	17	
	×	—	9	
	無回答		1	
二年次	○	○	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご報告いたします</u> (21)</li> <li>・<u>報告いたします</u> (5)</li> <li>・<u>ご報告します</u> (3)</li> <li>・<u>ご報告なさります</u> (1)</li> <li>・<u>報告します</u> (1)</li> <li>・<u>ご報告されます</u> (1)</li> <li>・<u>ご報告にあがります</u> (1)</li> </ul>
	○	×	6	
	○	—	0	
	×	○	21	
	×	×	13	
	×	—	4	
	無回答		2	

15、保護者に遠足についてご説明なさいました。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご説明しました</u> (12)</li> <li>・<u>説明いたしました</u> (5)</li> <li>・<u>ご説明いたしました</u> (4)</li> <li>・<u>説明しました</u> (3)</li> <li>・<u>ご説明いただきました</u> (1)</li> <li>・<u>説明させていただきました</u> (1)</li> <li>・<u>説明されました</u> (1)</li> </ul>
	○	×	0	
	○	—	0	
	×	○	9	
	×	×	20	
	×	—	9	
	無回答		8	
二年次	○	○	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ご説明いたしました</u> (8)</li> <li>・<u>説明いたしました</u> (5)</li> <li>・<u>説明しました</u> (5)</li> <li>・<u>ご説明しました</u> (4)</li> <li>・<u>ご説明する</u> (1)</li> <li>・<u>説明されました</u> (1)</li> <li>・<u>ご説明になりました</u> (1)</li> <li>・<u>ご説明されました</u> (1)</li> </ul>
	○	×	7	
	○	—	3	
	×	○	14	
	×	×	15	
	×	—	2	
	無回答		2	

短期大学生の敬語表現と意識の推移

16、「先生、こちらを手伝って」と主任に言われて、「はい、了解です」と答えた。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知しました (16)</li> <li>・わかりました (7)</li> <li>・かしこまりました (7)</li> <li>・承知いたしました (2)</li> <li>・手伝います (1)</li> <li>・了解しました (1)</li> </ul>
	○	×	1	
	○	—	2	
	×	○	17	
	×	×	14	
	×	—	10	
	無回答		5	
二年次	○	○	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知しました (14)</li> <li>・承知いたしました (9)</li> <li>・かしこまりました (6)</li> <li>・わかりました (5)</li> <li>・了解いたしました (2)</li> <li>・承りました (1)</li> </ul>
	○	×	2	
	○	—	1	
	×	○	20	
	×	×	17	
	×	—	4	
	無回答		0	

17、家での様子を保護者の方からお聞きになりたいと思います。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お聞きしたい (20)</li> <li>・おうかがいしたい (7)</li> <li>・うかがいたい (3)</li> </ul>
	○	×	2	
	○	—	2	
	×	○	18	
	×	×	13	
	×	—	8	
	無回答		5	
二年次	○	○	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お聞きしたい (17)</li> <li>・うかがいたい (8)</li> <li>・おうかがいしたい (6)</li> <li>・おうかがいしたい (2)</li> <li>・お耳にする (1)</li> <li>・聞きたい (1)</li> </ul>
	○	×	3	
	○	—	4	
	×	○	18	
	×	×	16	
	×	—	3	
	無回答		1	

18、主任が指導案についてご指導くださる。(○)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指導いただく (1)</li> <li>・ご指導していただく (1)</li> <li>・ご指導して下さいます (1)</li> </ul>
	○	×	7	
	○	—	14	
	×	○	1	
	×	×	5	
	×	—	2	
	無回答		6	
二年次	○	○	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指導して下さる (2)</li> <li>・ご指導いただく (1)</li> <li>・指導をうける (1)</li> <li>・指導して下さる (1)</li> <li>・ご指導をして下さりました (1)</li> <li>・ご指導して下さいます (1)</li> <li>・指導なさる (1)</li> <li>・教えて下さいます (1)</li> </ul>
	○	×	12	
	○	—	7	
	×	○	3	
	×	×	8	
	×	—	0	
	無回答		1	

19、福岡先生から絵本を拝借した。(○)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お借りした (2)</li> <li>・お借りになる (1)</li> <li>・お貸りした (1)</li> <li>・お借りしました (1)</li> <li>・拝借しました (1)</li> </ul>
	○	×	8	
	○	—	15	
	×	○	3	
	×	×	5	
	×	—	2	
	無回答		3	
二年次	○	○	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お借りした (2)</li> <li>・拝借させていただきました (1)</li> <li>・拝借いたしました (1)</li> <li>・拝借されました (1)</li> </ul>
	○	×	12	
	○	—	6	
	×	○	1	
	×	×	4	
	×	—	0	
	無回答		2	

短期大学生の敬語表現と意識の推移

20、福岡先生もバスケットをやられるんですね。(×)

	正誤	自信	人数	適切な表現
一年次	○	○	5	・ <u>されるのです</u> (10)
	○	×	4	・ <u>されるんです</u> (4)
	○	—	4	・ おやりになる (1)
	×	○	8	・ <u>されているのですか</u> (1)
	×	×	15	・ <u>やられるのです</u> (1)
	×	—	11	・ <u>される</u> (1)
				・ <u>なさるのでしょうか</u> (1)
			・ <u>なされる</u> (1)	
			・ <u>なさるんです</u> (1)	
			・ <u>していっらしやるんです</u> (1)	
			・ <u>嗜まれるのです</u> (1)	
			・ <u>なさるのです</u> (1)	
	無回答		3	
二年次	○	○	3	・ <u>されるのです</u> (8)
	○	×	5	・ <u>なさるんです</u> (5)
	○	—	1	・ <u>されるんです</u> (3)
	×	○	11	・ <u>なさるのです</u> (2)
	×	×	21	・ <u>されていっらしやるんです</u> (2)
	×	—	5	・ <u>なされるのです</u> (2)
				・ <u>やってらっしやるんです</u> (1)
			・ <u>やられてるのです</u> (1)	
			・ <u>やられるのです</u> (1)	
			・ <u>行うのです</u> (1)	
			・ <u>さられるんです</u> (1)	
			・ <u>なされる</u> (1)	
			・ <u>されているんです</u> (1)	
			・ <u>していたんです</u> (1)	
			・ <u>される</u> (1)	
			・ <u>嗜まれるんです</u> (1)	
	無回答		1	

20 問の問題の正解率を見ると、1 年次は 70.5% で 2 年次は 71.8% となり、1 年次を少し上回った。20 問中 15 問は、1 年次と比べ 2 年次に正解率が上がった。1 年次から見て 2 年次に正解率が下がったのは、10 の「ご存じ」を「存じる」に、13 の「ご報告になる」を「ご報告する」にと尊敬語を謙譲語に

変える問題であった。10 では適切な表現として「存じ上げる」の回答が目立った。「知る」の謙譲語としては正しいが、「存じ上げる」は基本的に「人のこと」に対してのみ使うので、ここでは適切ではないと判断した。

特に、1 の「お見えになる」は「来る」の尊敬語で文例は適切であるのだが、1 年次は 82% の正解であったが、2 年次では 36.2% と大きく下回った。1 年次は正解者の 53.7% が解答に自信ありと答えた。2 年次は 59.6% が「お見えになる」は適切な表現ではないと答え、そのうちの 60.7% が解答に自信なしと答えた。このように正解率が大幅に落ちた理由は不明である。

1 年次は 20%、2 年次は 31.9% と特に正解率の低かったのが、7 の「見せる」の謙譲語「ご覧に入れる」という表現である。「ご覧に入れる」が適切な表現ではないと答えたなかには、「拝見していただきたい」「拝見させていただきたい」、あるいは、「ご覧していただきたい」「ご覧いただきたい」という表現があった。「見る」の尊敬語が「ご覧になる」なので、謙譲語にしないといけないと思った対象者は「見る」の謙譲語の「拝見」を使い、「見せる」ではなく「見せてもらう」と解釈した学生が「もらう」の謙譲語「いただく」を用いたと考えられる。

二重敬語については、ほかの問題と比較すると正解率が低かった。2 の「ご出席になられる」が 1 年次は 56%、2 年次は 61.7%、3 の「おっしやられる」が 1 年次は 56%、2 年次は 68% という正解率であった。しかし、8 の「おいでになられる」は、1 年次は 76%、2 年次は 76.7% と正解率は高かったが、適切な表現として「おいでになる」と答えたのは、1 年次、2 年次ともに 2 割に満たなかった。4 の「召し上がる」では、適切な表現として「お召し上がりになる」、17 の「お聞きになる」では、適切な表現として「おうかがいする」という表現があった。「お召し上がりになる」、「おうかがいする」は二重敬語であるが、二重敬語について文化庁<sup>8)</sup>は「語によっては、習慣として定着しているものもある」とし「習慣として定着している二重敬語の例」として「お召し上がりになる」、「おうかがいする」を挙げ、許容している。よって、「お召し上がりになる」、「おうかがいする」は適切な表現とした。

5は謙讓語の「拝見する」を尊敬語の「ご覧になる」に変えないといけないのだが、適切な表現として「ご覧になりました」と二重敬語を挙げた学生が多かった。

6は適切な表現として「話す」を謙讓語にするのだが、1年次は正解者70%のうち22.9%、2年次は正解者70.2%のうち12.8%しか「お話しする」と答えることができなかった。適切な表現として尊敬語を答えたものも多かった。さらに、12は「お読みする」を尊敬語に変える問題で、1年次が78%、2年次が83%で正解率は高いのだが、適切な表現として「拝見しました」「拝見されました」が多かった。6と12の問題では、尊敬語と謙讓語が混同していることがわかった。

18の「ご指導くださる」は適切な表現であるが、「ご指導してくださる」という表現があった。これは、文化庁<sup>9)</sup>が「自分が先生の指導を受けた」という内容を「私」を表現しない場合は、「ご指導くださる」「ご指導してくださる」を使うと示しているので適切な表現とした。

9の「うれしいです」の正解率は1年次が60%、2年次が68.1%とほかの問題と比較すると正解率が低かった。適切な表現として、1年次の70%、2年次の81.2%が「光栄です」と答えた。うれしい気持ちを表す際に使う言葉なので表現としては正しいのであるが、問題に即した答えとしては、「うれしく存じます」を望んでいた。

11の「くれる」の尊敬語として、1年次、2年次ともに約6割が「くださる」と理解していた。14の「行く」の尊敬語として、1年次、2年次ともに8割以上が「いらっしゃる」と理解していた。19の「借りる」の謙讓語として、1年次は74%、2年次は85.1%が「拝借する」と理解していた。これらは理解度が高かった。

16は「承知しました」が適切な表現であるが、「かしこまりました」が目立った。「かしこまりました」は「つつしんで目上の人の言葉を承る」<sup>10)</sup>という意味の「かしこまる」に丁寧語の助動詞「ます」の過去形をつけた表現であるので、適切な表現と判断した。

20の「やる」は「する」のくだけた、ぞんざいな表現である。適切な表現として「する」の尊敬語「な

さる」「される」の回答が多かった。なかには、「やる」を尊敬語の表現形式にした「おやりになる」、「やられる」などの表現が目立った。これらの表現は、テレビの画面を通じて耳にすることが多く、その影響を受けたものと考えられる。

以上の結果により、本学学生は尊敬語と謙讓語の区別や言い換え、過剰な表現である二重敬語の判断がまだ十分に身につけていないことがわかった。調査をした短い期間の中で、1年次と2年次では顕著な変化は見られないが、敬語の使用や使い分け、言葉遣いへの配慮の自覚は多大に見られた。

#### 4. おわりに

本調査では、対象者が保育科学生ということから、子どもや保育者との関わりが多いことも含めて、丁寧な言葉遣いへの意識は高いことがわかった。子どもに対する言葉遣い、保育者に対する敬語の使用など、必要に応じた言葉の使い分けができていたという自覚は高かった。しかし、緊張や方言の使用により、使用した敬語が適切な表現であるのか自信がないと感じている学生が多いことも明らかになった。

以上の敬語の使用と意識調査、敬語の問題の結果により、敬語表現に関する基本的知識の見直しの必要性が明らかとなった。社会人として、また保育者として、保護者とのよりよい関係を築くためにも敬語を適切に使用することは必須である。学生たちの敬語力を高めるためにも、継続的な敬語教育が必要である。

今回は、尊敬語と謙讓語の区別や言い換えなどがどの程度理解しているかを知るために正誤を問う問題を提示したが、学生たちが表現する言葉の一つとして、相手や場面に応じてどのような敬語表現を使用するかをより詳しく検証する必要があると考える。継続的な敬語教育に加え、今後の課題とした。

#### 謝辞

本研究にご協力くださった学生の皆様に感謝申し上げます。

注

- 1) 文化庁国語課 (2022) 「令和 3 年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」 pp. 10-11
- 2) 敬語の問題は 20 問。設問の文例は、保育施設の現場で使うであろう場面を想定して、筆者が問題を作成した。設問内容は「3.調査の結果と考察」に記載する。
- 3) 敬語の問題は 2) と同様。
- 4) 記載している理由は、多少表現が違っていても、内容が類似している場合は、同じ理由文に入れている。以下に記載している理由も同様である。
- 5) 文例のあとに (○) (×) を記載している。下線部分の敬語表現が適切な場合は (○)、適切ではない場合は (×) を記載している。
- 6) 正誤の答えに対して、自信の有無は「○」「×」、自信の有無が無記入の場合は「—」を記載している。
- 7) 適切な表現のあとの ( ) 内は答えた人数を記載している。文例にあった適切な表現には下線を引いている。また、調査対象者が回答したままを記載している。
- 8) 文化庁 (2007) 「敬語の指針」文化審議会答申 p30
- 9) 同上 p32
- 10) 「広辞苑」第 7 版 岩波書店

文献

- 1、尾崎喜光 (2009) 『しくみで学ぶ！正しい敬語』ぎょうせい
- 2、蒲谷宏編 (2010) 『日本語ライブラリー 敬語コミュニケーション』朝倉書店
- 3、菅井郁 (2009) 「自由が丘産能短期大学生の敬語意識—アンケート調査結果からの考察—」自由が丘産能短期大学紀要 42 号 pp. 39-59
- 4、杉本あゆみ (2019) 「千葉経済大学短期大学部の敬語に関する調査報告」千葉経済大学短期大学部研究紀要 第 15 号 pp. 67-78
- 5、舛田弘子 (2001) 「敬語使用に関する意識および実際の敬語の使用様態についての調査研究」仙台白百合女子大学紀要 5 巻 pp. 37-47